

授業アンケート・全般アンケート (前期及び後期) 結果分析報告書

2016 年度



神戸山手大学 現代社会学部
FD 委員会

委員長	加藤 恵介		
委員	久富 健治	飯嶋 香織	
	蝦名 大助	原 一樹	

目 次

第1章	学生の学習状況の把握	3
第2章	2016年度 授業アンケート	
	第1節 2016年度 前期授業アンケート	5
	第2節 2016年度 後期授業アンケート	15
第3章	2016年度 全般アンケート	
	第1節 2016年度 前期全般アンケート	25
	第2節 2016年度 後期全般アンケート	32

第1章 学生の学習状況の把握

1. 授業アンケートなどの活用

教育目的の達成状況の点検・評価方法の工夫としての学生の学習状況の把握は、主にFD活動の一環として展開している、学生による前期及び後期授業評価アンケートを各期末に全科目を対象に実施している。それを活用し授業内容・授業方法の見直しと今後の改善資料となるようにしてきた。「前期・後期授業アンケート」では、特に自由記述欄を設けているため、数字だけでは測ることのできない学生の直接的な意見を聞くことができ、授業改善に活用している。

教室内外の学習状況に関する学生アンケート調査等を分析した資料は、「第2章 2016年度 授業アンケート」、「第3章 2016年度 全般アンケート」である。

2016年度前期の「この授業で学んだ内容を理解することができたか」については、「良く理解出来た」「かなり理解出来た」「まあ理解出来た」の回答率の合計が91%であった。同様に「あなたは、この授業を受講して満足したか」については、「とても満足した」「かなり満足した」「満足した」の回答率の合計が91%であり、おおむね高い結果が得られた。

2016年度後期の「この授業で学んだ内容を理解することができたか」については、「良く理解出来た」「かなり理解出来た」「まあ理解出来た」の回答率の合計が89%であった。同様に「あなたは、この授業を受講して満足したか」については、「とても満足した」「かなり満足した」「満足した」の回答率の合計が89%であり、後期も前期同様おおむね高い結果が得られた。

本学の学生は、「一般学生(高校を卒業後すぐあるいは1,2年浪人して入学してくる学生)」と「留学生」と「シニア学生(年齢が50歳以上の学生)」の3つに分類することができる。その学生区分別に授業の満足度をみると最も高いのは「シニア学生」で、次に「留学生」、「一般学生」と続いている。3つのグループすべての学生が同じ授業を受講していることを考えれば、学生の学びの意欲が授業の満足度に大きな影響を与えたと考えられる。

今後は「一般学生」の学びの意欲を高めていくことが課題である。

2. 個々の学生の学習状況の把握

個別の学生の学習状況の把握は、各ゼミ担当教員が把握し、個別に指導している。授業の出欠については、学期の中間時期に欠席調査を行い、各科目の欠席状況に応じて各ゼミ担当教員が、連続して欠席している学生に指導、相談、助言を行っている。

また、1,2年ゼミ担当教員で構成される会議と3,4年ゼミ担当教員で構成される会議をそれぞれが定期的にもち、個々の学生の学習状況の把握と授業運営に関する意見交換などを行っている。

3. 履修計画の支援システムに対する評価

2013年の入学生から(観光文化学科は2015年入学生から)個々の学生の履修計画を支

援するシステムとして、「科目履修計画・評価シート」（通称：ポートフォリオ）を通じて、履修の計画・動機づけを進めるように設計している。各学年の前後期の授業開始時に、それぞれの科目を履修するうえでの意欲と達成目標を「履修計画」として記入させ、学期末にその達成度を自己評価させることによって、4年間漫然と履修するのではなく、それぞれのキャリア形成に沿った履修計画を意識づけすることを目的としている。

ポートフォリオを実施した学年の学生に、「理解しているか」「役に立ったか」についてアンケートに答えてもらった結果、「よく理解していた」「まあまあ理解していた」と回答した学生は前期が47%、後期が57%、「とても役にたった」「まあまあ役にたった」と回答した学生は前期が42%、後期が43%と、否定的な回答を大きく上回った。

個々の学生が、学年進行に応じてどのフィールドを専門領域として履修していくかについての参考資料として、フィールド内の科目の位置づけをまとめたカリキュラムマップを配布している。また、1,2年生の履修登録オリエンテーションに際して、各フィールドの担当者によりフィールドの方針などを説明するにあたっての資料としている。

カリキュラムマップが「参考になったか」どうかについてアンケートで答えてもらった結果、「とても参考になった」「まあまあ参考になった」と回答した学生は前期が59%、後期が55%と、否定的な回答を大きく上回った。

以上から、これらのシステムについては、履修計画を支援するにあたって十分に機能しているものと考えられる。

第2章 2016年度 授業アンケート

第1節 2016年度 前期授業アンケート

1. 本調査の実施の概要と回答者の属性

本調査は神戸山手大学の全学生を対象に以下の要領で実施した。

実施期間：2016年7月4日～2016年7月14日

原則として以下の授業時間に実施

1年生－基礎ゼミ

2年生－課題研究

3,4年生－ゼミまたは卒業研究

上記の時間に欠席した学生は、各自が空き時間を利用して回答

回答方法：WEB上で実施

有効回答数：299（回答率 50.3%）

回答者の属性：図表 2-1-2 及び図表 2-1-3 を参照

図表 2-1-1 在籍者数

	1年	2年	3年	4年	合計
総合社会学科	65	43	48	62	218
観光文化学科	82	31	100	147	360
環境文化学科	—	—	—	10	10
都市交流学科	—	—	—	6	6
合計	147	74	148	225	594

(平成28年5月1日現在)

図表 2-1-2 回答者の学年別内訳

	人数
1年生	95
2年生	40
3年生	76
4年生	88
合計	299

図表 2-1-3 回答者の学生区分別内訳

	人数
一般学生	192
留学生	74
シニア学生	33
合計	299

2. 質問項目

本調査の授業改善のための評価アンケート項目は以下の11項目である。

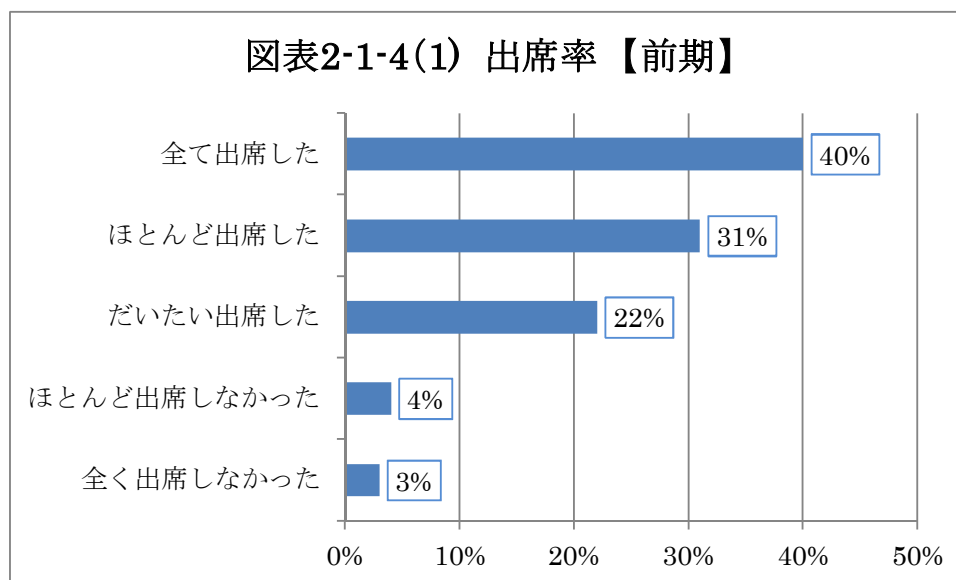
- ①この授業に良く出席したか
- ②授業を受けるうえで、シラバス（学生便覧）は役に立ったか
- ③教員の説明は、聞き取りやすかったか（声の大きさやスピードなど）
- ④教員の説明は、わかりやすかったか
- ⑤教員は、私語をする学生に指導するなど、学習しやすい環境を保つ努力をしていたか
- ⑥テキストや配布資料は、授業内容の理解に役立ったか
- ⑦板書や映像資料などは、有効に活用されていたか
- ⑧この授業に関して1回の講義あたり、平均してどのぐらい予習、復習、関連する学習をしたか
- ⑨この科目（分野）に関する興味・関心が深まったか
- ⑩この授業で学んだ内容を理解することができたか
- ⑪あなたは、この授業を受講して満足したか

3. 授業アンケートの結果（前期）

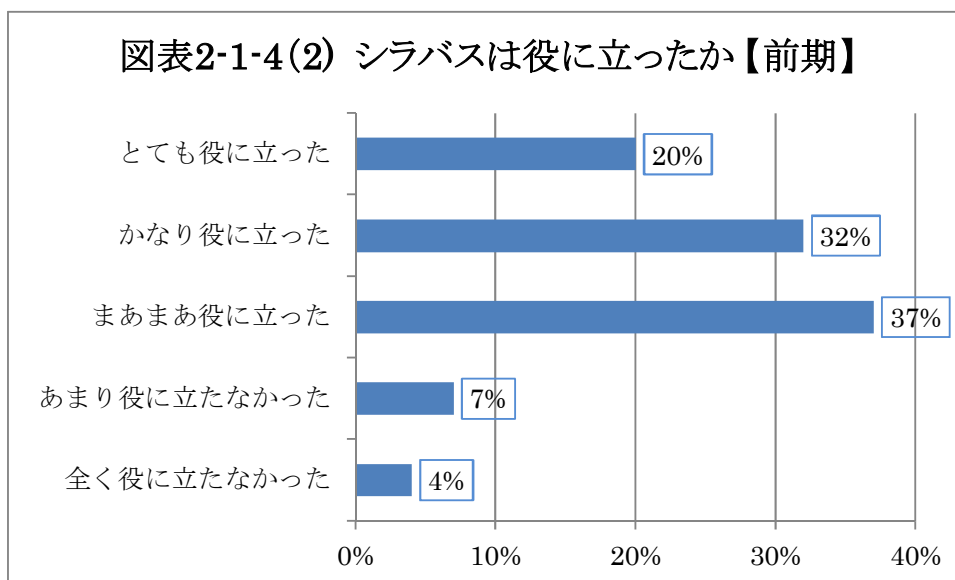
※本報告は設問ごとに無回答を除いて合計を算出しているため、各設問によって合計数が異なる。

「授業の出席率」は「全て出席した」「ほとんど出席した」の回答率の合計は71%で、「だいたい出席した」をあわせると93%になる。

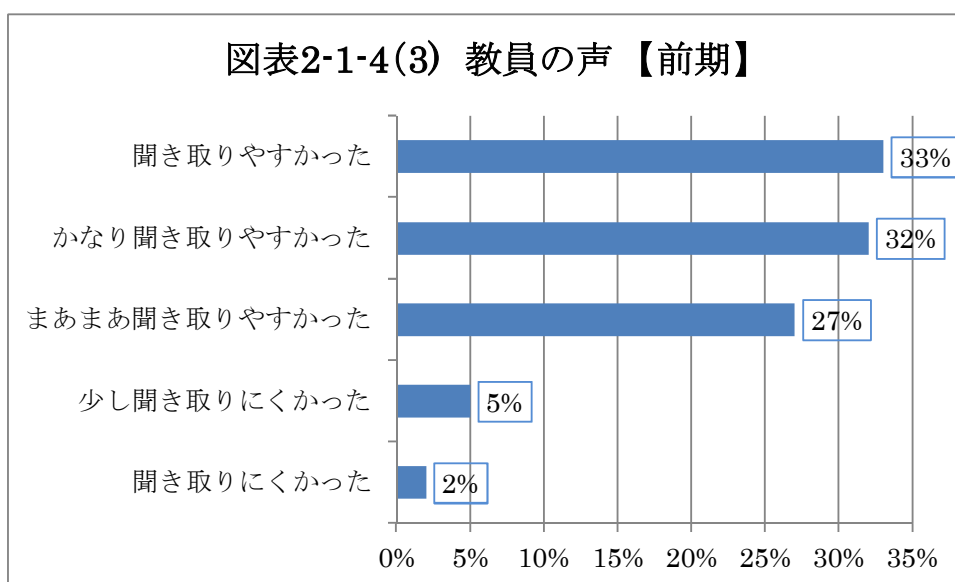
「全く出席しなかった」「ほとんど出席しなかった」の回答率の合計は7%である。学生によっては履修登録をしてもその授業の履修を途中で取りやめた結果であると考えられる。



「授業を受けるうえで、シラバス（学生便覧）は役に立ったか」において、「とても役に立った」「かなり役に立った」「まあまあ役に立った」の回答率の合計は89%であった。

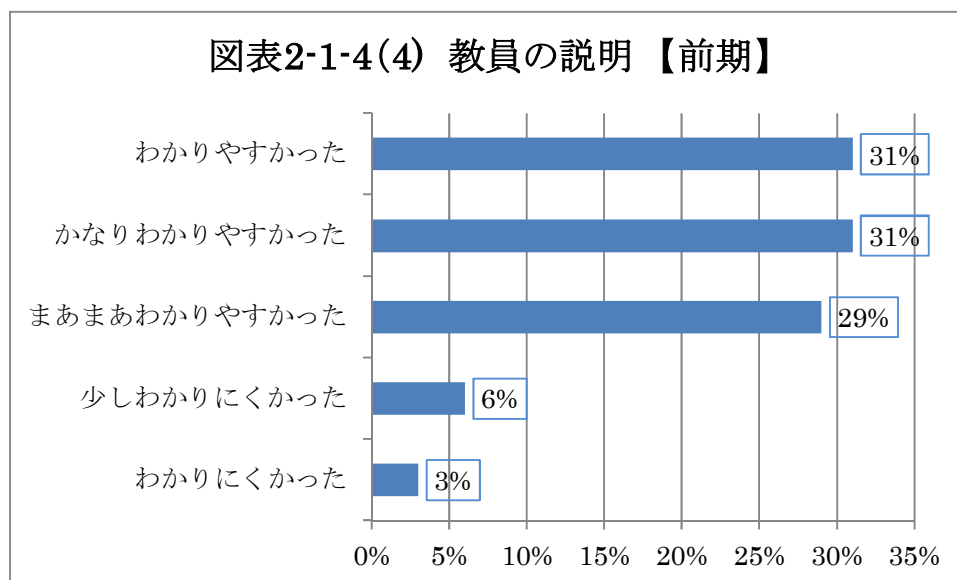


「教員の説明は、聞き取りやすかったか（声の大きさやスピードなど）」は、「聞き取りやすかった」「かなり聞き取りやすかった」「まあまあ聞き取りやすかった」の回答率の合計は92%であった。

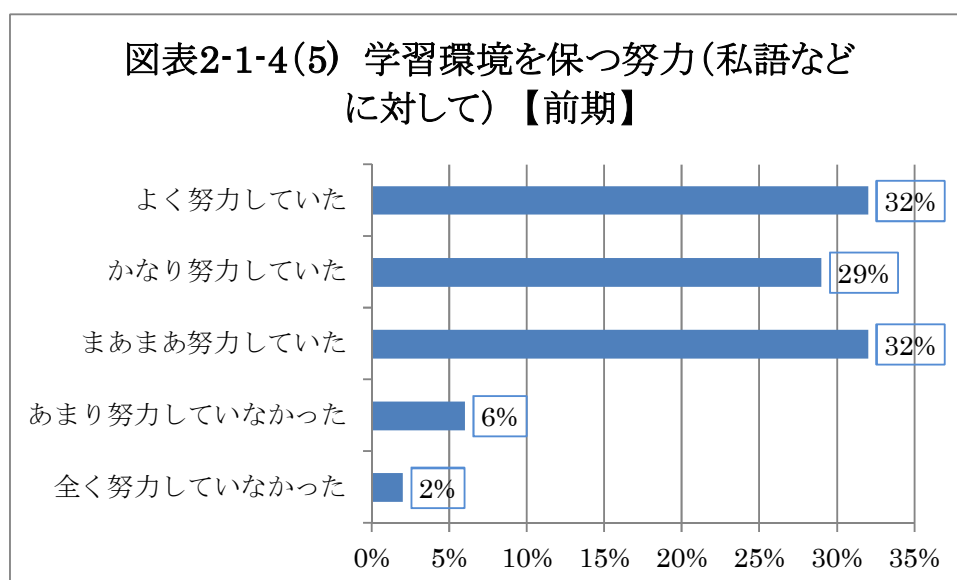


※ 四捨五入の関係で合計は100%にならない。

「教員の説明は、わかりやすかったか」は、「わかりやすかった」「かなりわかりやすかった」「まあまあわかりやすかった」の回答率の合計は91%であった。

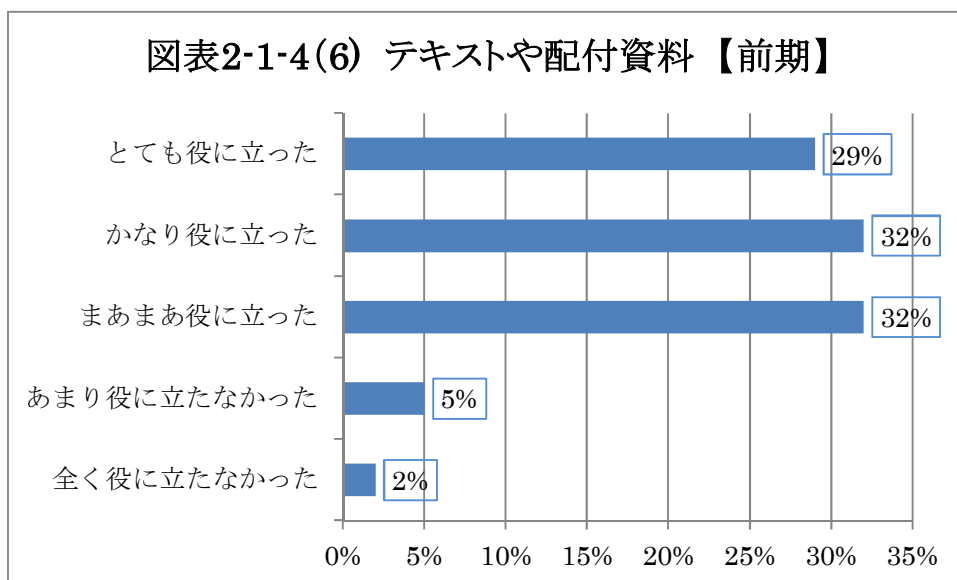


「教員は、私語をする学生に指導するなど、学習しやすい環境を保つ努力をしていたか」については、「よく努力していた」「かなり努力していた」「まあまあ努力していた」の回答率の合計は93%であった。

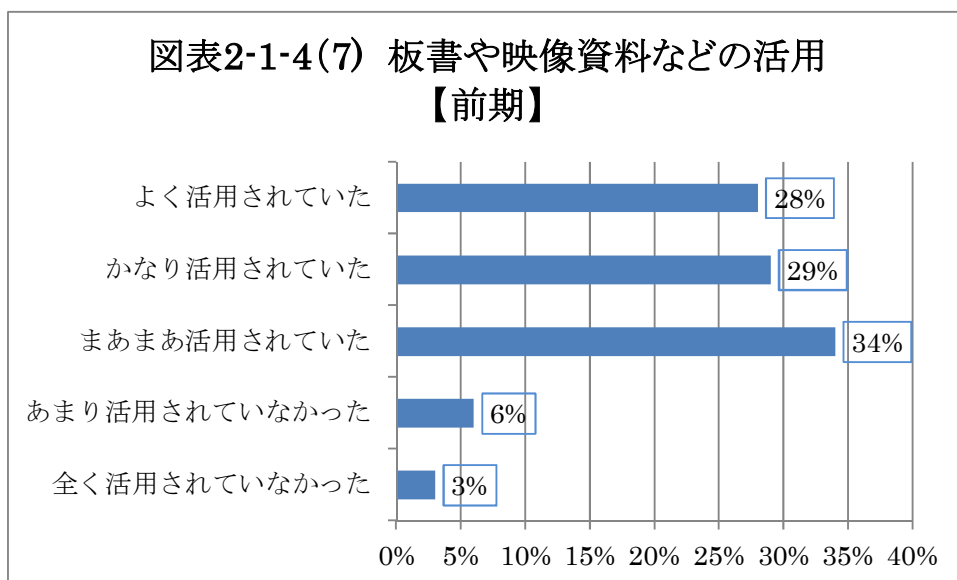


※ 四捨五入の関係で合計は100%にならない。

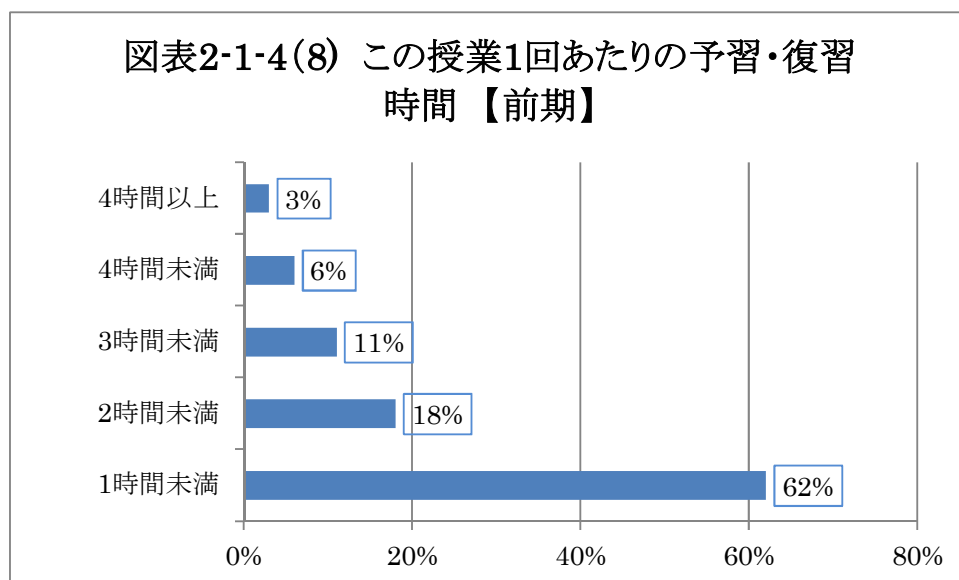
「テキストや配布資料は、授業内容の理解に役立ったか」は、「とても役に立った」「かなり役に立った」「まあまあ役に立った」の回答率の合計は93%であった。



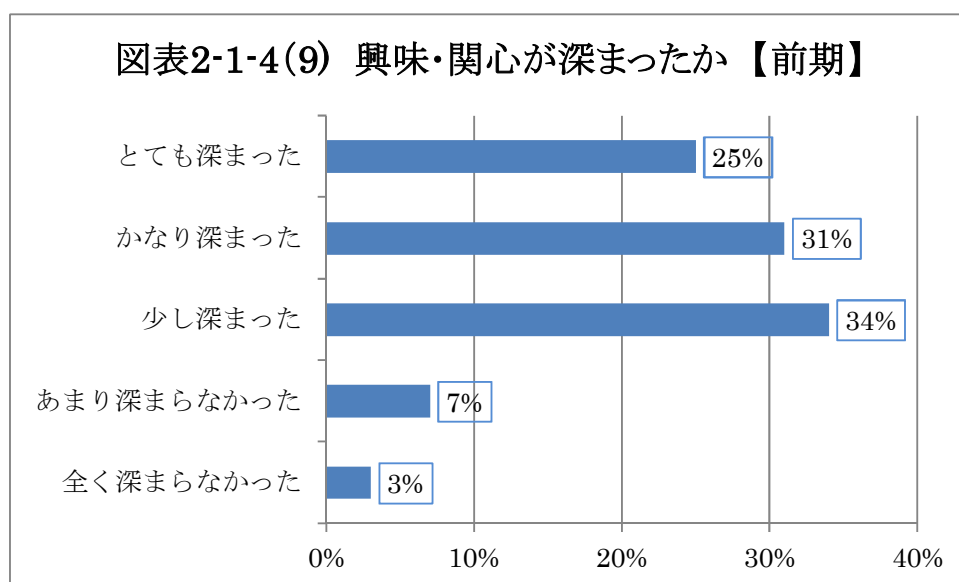
「板書や映像資料などは、有効に活用されていたか」については、「良く活用されていた」「かなり活用されていた」「まあ活用されていた」の回答率の合計は91%であった。



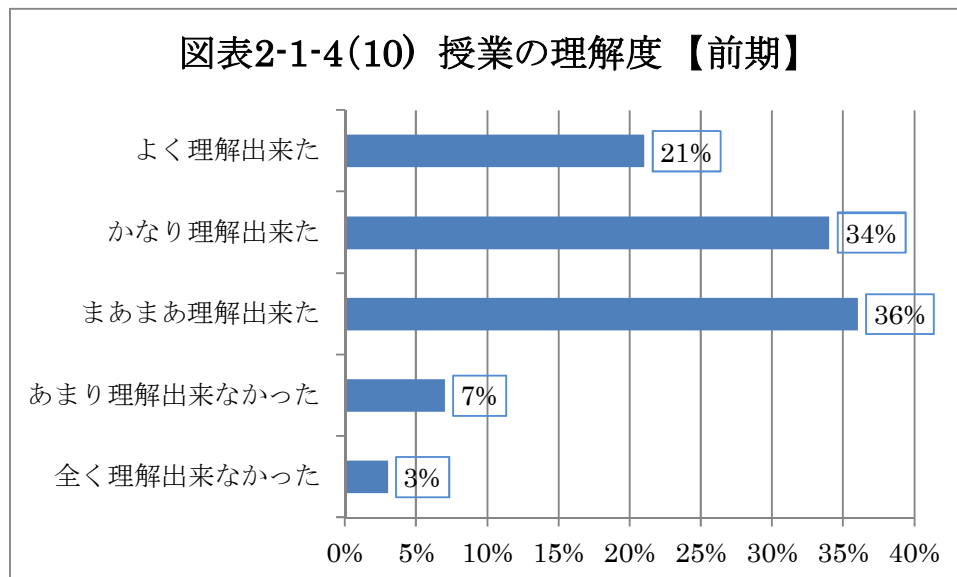
「この授業に関して1回の講義あたり、平均してどのぐらい予習、復習、関連する学習をしたか」については、「4時間以上」「4時間未満」「3時間未満」の回答率の合計は20%であった。



「この科目（分野）に関する興味・関心が深まったか」については、「とても深まった」「かなり深まった」「少し深まった」の回答率の合計は90%であった。

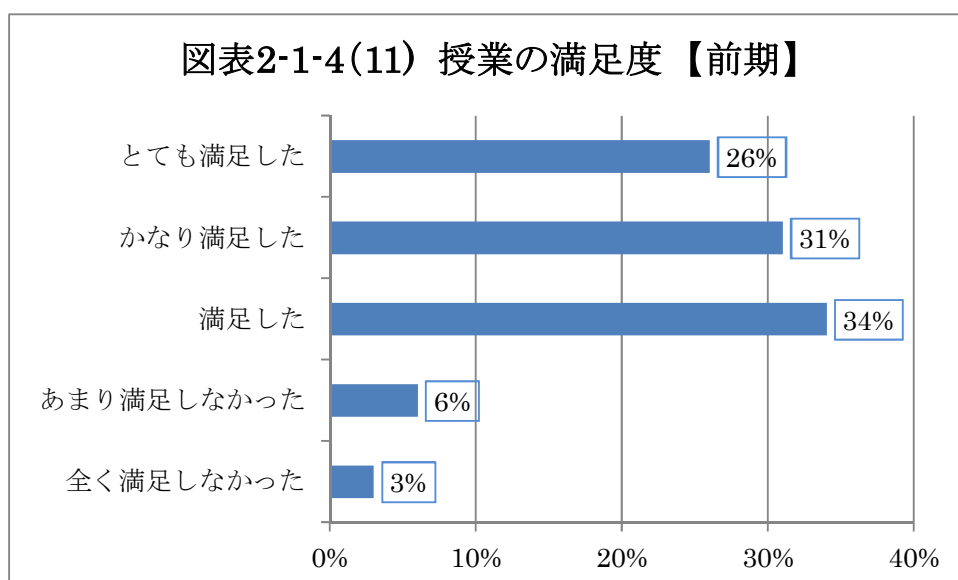


「この授業で学んだ内容を理解することができたか」については、「よく理解出来た」「かなり理解出来た」「まあ理解出来た」の回答率の合計は91%であった。



※ 四捨五入の関係で合計は100%にならない。

「あなたは、この授業を受講して満足したか」については、「とても満足した」「かなり満足した」「満足した」の回答率の合計は91%であった。



4. 各質問項目と属性との関係（前期）

本学の学生は一般学生（高校を卒業後すぐあるいは1,2年浪人して入学してくる学生）と留学生とシニア学生（年齢が50歳以上の学生）の3つに分類することができる。その学生区分別に各質問との関係を見たのが、図表2-1-5 学生区分別の平均値の比較である。

平均値の計算方法であるが、前掲の図表2-1-4（11）を例にとると「全く満足しなかった=1」「あまり満足しなかった=2」「満足した=3」「かなり満足した=4」「とても満足した=5」として平均を計算している。その質問項目の得点が高いほど、役に立った、満足度が高い、よく理解しているなどの傾向があることを示している。

一般学生、留学生、シニア学生の比較（図表2-1-5参照）では、全体的傾向として各質問項目の平均点が高いのはシニア学生で、次に留学生、一般学生と続いている。

詳細を見ると、「出席率」「シラバスは役に立ったか」「教員の声（は聞き取りやすかったか）」「教員の説明」「学習環境を保つ努力（私語などに対して）」「テキストや配布資料」「板書や映像資料などの活用」「興味・関心が深まったか」「授業の理解度」「授業の満足度」の10項目でシニア学生の平均値が最も高かった。

「この授業の1回あたりの予習・復習時間」のみが留学生の平均値が最も高かった。この平均値が高いのは本学での授業は日本語での授業であるため、シニア学生や、一般学生に比較して、多くの時間勉強していることを推測させる結果となった。

全11項目中、10項目で平均値が最も低かったのは、一般学生であった。3タイプの学生とも同じ授業を一緒に履修していることを考えると、各学生群の抱える事情や学びの意欲の高低などが授業の満足度をはじめ各項目の平均値に影響を与えたと考えられる。

本学は2015（平成27）年に神戸夙川学院大学の教育資産を継承した観光文化学科を設置し、総合社会学科との2学科体制となった。そこで、学科別に分析を行なった。図表2-1-6は学科別・各学年別の平均値を計算した結果である。

総合社会学科は全体的な傾向として、入学直後の1年生は全体の中で見ると「満足度」をはじめ、7項目で平均値が4学年中最も低くなっている。入学して半年で授業だけでなく、大学生活に手探りの状態であるといえよう。ただし、昨年分析でも同様の傾向が見られたが、入学後の半年間は授業の出席率は他の学年に比較して高い傾向がある。ところが2年生になると全体的に上昇し、「興味・関心が深まったか」「満足度」など6項目で4学年中最も高くなっている。また全体の傾向としては3年生、4年生と学年が上がるごとに平均値が高くなり、6項目において4年生の平均値が最も高くなっている。

それに対して観光文化学科であるが、総合社会学科と比較して異なった傾向があり、総じて総合社会学科よりも高めの平均値となっている。観光文化学科で特徴的なのは、7つの項目の平均値で、2年生が最も高くなっており、その後学年が上がるごとに平均値が低下していく傾向があることである。3,4年生で比較しても「予習・復習時間」の項目以外で3年生、4年生と学年が上がるごとに平均値が低下している。4年生は、学生自身の授業への取り組みの意欲などと深く関係すると思われる「出席率」「興味・関心が深まったか」「授業の理解度」の3項目、その他5項目の計8項目の平均値が4学年で最も低いという結果となっている。

図表 2-1-5 平均値の比較 一般学生・シニア・留学生別結果【前期】

		出席率	シラバスは役に立ったか	教員の声	教員の説明	学習環境を保つ努力	テキストや配付資料	板書や映像資料などの活用	この授業1回当りの予習・復習時間	興味・関心が深まったか	授業の理解度	授業の満足度
一般学生	平均	3.89	3.45	3.78	3.72	3.73	3.75	3.65	1.53	3.58	3.55	3.63
	回答数	2353	2351	2349	2337	2326	2335	2340	2337	2335	2349	2335
シニア学生	平均	4.72	3.85	4.37	4.33	4.30	4.23	4.20	1.46	4.20	4.08	4.17
	回答数	348	339	343	344	341	340	339	343	345	345	348
留学生	平均	4.14	3.83	3.99	3.95	3.91	3.89	3.85	2.36	3.76	3.69	3.81
	回答数	698	696	691	693	690	695	690	688	698	695	693
全体	平均	4.03	3.57	3.88	3.83	3.82	3.83	3.75	1.69	3.68	3.63	3.72
	回答数	3399	3386	3383	3374	3357	3370	3369	3368	3378	3389	3376

※ 無回答があるため合計回答数は一致しない

図表 2-1-6 平均値の比較 学科・学年別結果【前期】

		出席率	シラバス は役に 立った か	教員の 声	教員の 説明	学習環 境を保 つ努力	テキスト や配付 資料	板書や 映像資 料など の活用	この授 業1回 当りの 予習・復 習時間	興味・関 心が深 まったか	授業の 理解度	授業の 満足度	
総合社会 環境文化 都市交流	1年	平均	4.03	3.26	3.82	3.74	3.76	3.77	3.65	1.45	3.50	3.43	3.56
		回答数	796	796	796	794	789	793	794	791	790	800	791
	2年	平均	4.04	3.79	3.99	3.96	3.93	3.95	3.81	1.72	3.77	3.78	3.84
		回答数	295	289	290	289	288	290	289	291	292	293	292
	3年	平均	3.91	3.48	3.85	3.75	3.77	3.76	3.68	1.50	3.46	3.41	3.67
		回答数	330	328	325	325	325	323	319	323	325	322	324
	4年	平均	3.90	3.92	4.00	3.93	3.84	3.87	3.83	2.02	3.76	3.79	3.84
		回答数	209	203	204	203	199	204	203	204	204	203	204
	合計	平均	3.99	3.48	3.88	3.80	3.80	3.81	3.71	1.58	3.58	3.53	3.67
		回答数	1630	1616	1615	1611	1601	1610	1605	1609	1611	1618	1611
観光文化	1年	平均	4.23	3.57	3.75	3.69	3.82	3.81	3.72	1.59	3.67	3.61	3.64
		回答数	703	704	705	701	697	699	701	695	701	703	702
	2年	平均	4.45	3.54	4.12	4.13	4.06	4.02	3.98	1.64	3.89	3.77	3.96
		回答数	170	171	168	170	165	169	171	170	171	171	171
	3年	平均	4.11	3.90	4.07	4.04	3.96	3.95	3.91	1.98	3.95	3.91	3.96
		回答数	564	565	565	566	564	563	564	564	563	566	562
	4年	平均	3.41	3.46	3.73	3.74	3.57	3.62	3.63	2.01	3.62	3.60	3.67
		回答数	332	330	330	326	330	329	328	330	332	331	330
	合計	平均	4.06	3.65	3.88	3.85	3.84	3.84	3.79	1.80	3.77	3.72	3.78
		回答数	1769	1770	1768	1763	1756	1760	1764	1759	1767	1771	1765
合計	1年	平均	4.12	3.40	3.79	3.72	3.79	3.79	3.68	1.51	3.58	3.51	3.60
		回答数	1499	1500	1501	1495	1486	1492	1495	1486	1491	1503	1493
	2年	平均	4.19	3.69	4.04	4.02	3.98	3.98	3.88	1.69	3.82	3.78	3.88
		回答数	465	460	458	459	453	459	460	461	463	464	463
	3年	平均	4.04	3.74	3.99	3.93	3.89	3.88	3.82	1.80	3.77	3.73	3.85
		回答数	894	893	890	891	889	886	883	887	888	888	886
	4年	平均	3.60	3.64	3.83	3.81	3.67	3.72	3.70	2.01	3.68	3.67	3.73
		回答数	541	533	534	529	529	533	531	534	536	534	534
	合計	平均	4.03	3.57	3.88	3.83	3.82	3.83	3.75	1.69	3.68	3.63	3.72
		回答数	3399	3386	3383	3374	3357	3370	3369	3368	3378	3389	3376

※ 無回答があるため合計回答数は一致しない

第2節 2016年度 後期授業アンケート

1. 本調査の実施の概要と回答者の属性

本調査は神戸山手大学の全学生を対象に以下の要領で実施した。

実施期間：2016年12月5日～22日

原則は以下の授業時間に実施

1年生－基礎ゼミ

2年生－課題研究

3,4年生－ゼミまたは卒業研究

上記の時間に欠席した学生は各自が空き時間を利用して回答

回答方法：WEB上で実施

有効回答数：236（回答率41.1%）

回答者の属性：図表2-2-2及び図表2-2-3を参照

図表2-2-1 在籍者数

	1年	2年	3年	4年	合計
総合社会学科	64	40	48	61	218
観光文化学科	76	28	99	146	360
環境文化学科	—	—	—	6	10
都市交流学科	—	—	—	6	6
合計	140	68	147	219	574

(平成28年11月8日現在)

図表2-2-2 回答者の学年別内訳

	人数
1年生	87
2年生	35
3年生	56
4年生	58
合計	236

図表2-2-3 回答者の学生区分別内訳

	人数
一般学生	144
留学生	61
シニア学生	31
合計	236

2. 質問項目

本調査の授業改善のための評価アンケート項目は以下の 11 項目である（※質問は前期と同一内容である）。

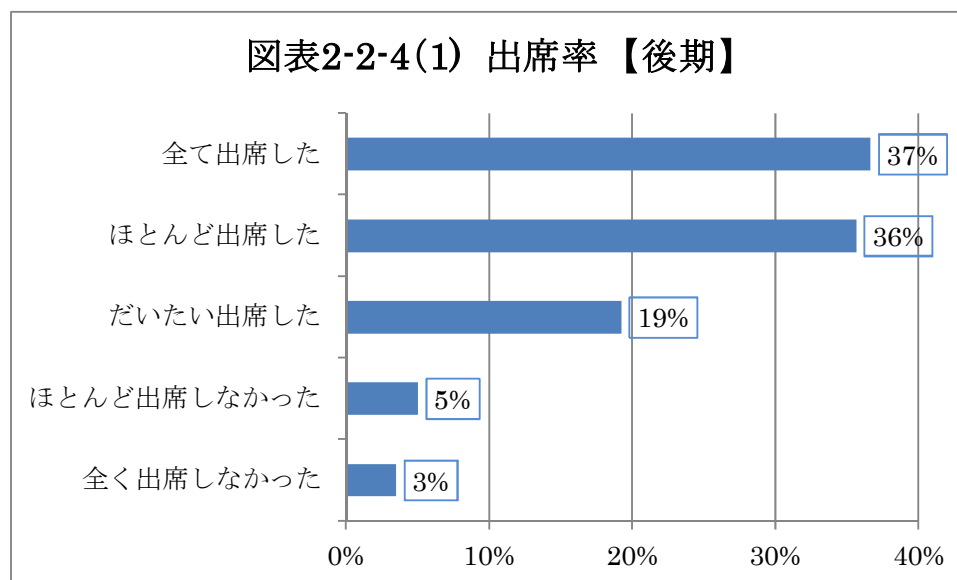
- ①この授業に良く出席したか
- ②授業を受けるうえで、シラバス（学生便覧）は役に立ったか
- ③教員の説明は、聞き取りやすかったか（声の大きさやスピードなど）
- ④教員の説明は、わかりやすかったか
- ⑤教員は、私語をする学生に指導するなど、学習しやすい環境を保つ努力をしていたか
- ⑥テキストや配布資料は、授業内容の理解に役立ったか
- ⑦板書や映像資料などは、有効に活用されていたか
- ⑧この授業に関して1回の講義あたり、平均してどのぐらい予習、復習、関連する学習をしたか
- ⑨この科目（分野）に関する興味・関心が深まったか
- ⑩この授業で学んだ内容を理解することができたか
- ⑪あなたは、この授業を受講して満足したか

3. 授業アンケート結果（後期）

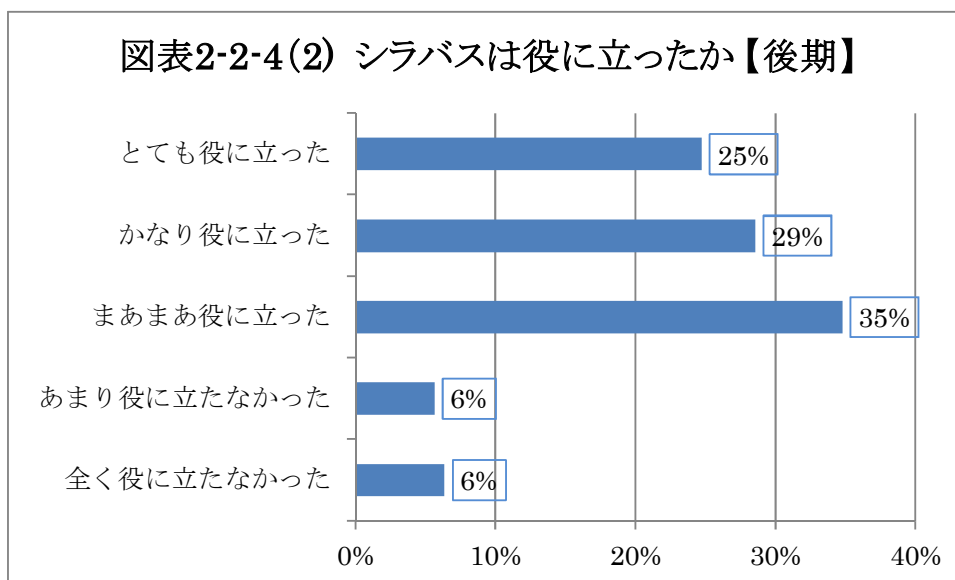
※本報告は設問ごとに無回答を除いて合計を算出しているため、各設問によって合計数が異なる。

「授業の出席率」は「全て出席した」「ほとんど出席した」の回答率の合計は 73%で、「だいたい出席した」をあわせると 92%になる。

「全く出席しなかった」「ほとんど出席しなかった」の回答率の合計は 8%である。

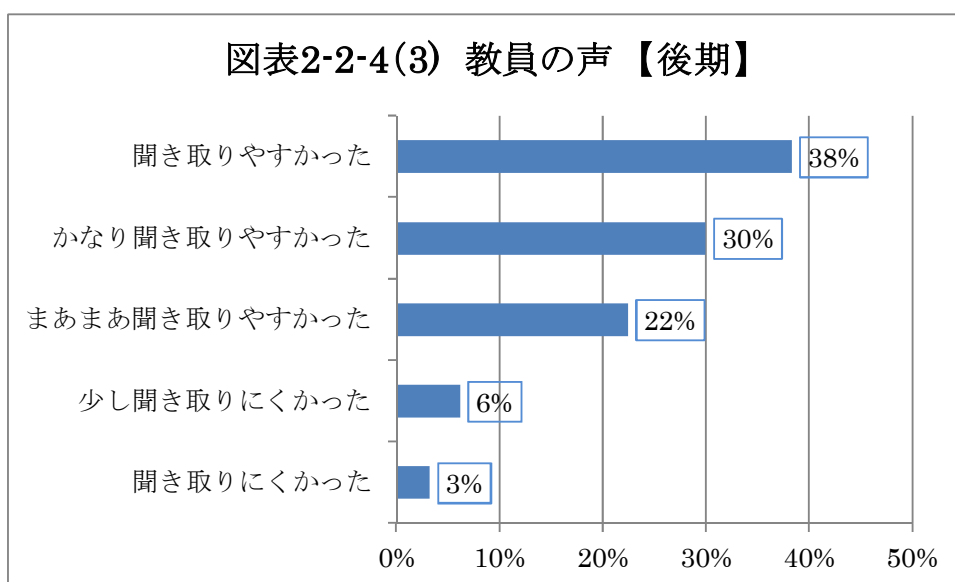


「授業を受けるうえで、シラバス（学生便覧）は役に立ったか」は、「とても役に立った」「かなり役に立った」「まあまあ役に立った」の回答率の合計は89%であった。



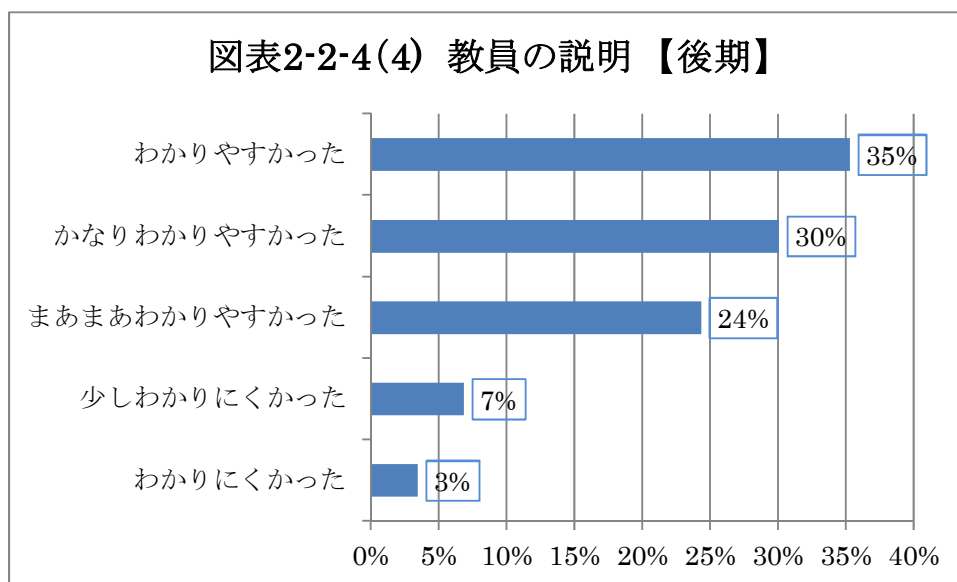
※ 四捨五入の関係で合計が100%にならない。

「教員の説明は、聞き取りやすかったか（声の大きさやスピードなど）」は、「聞き取りやすかった」「かなり聞き取りやすかった」「まあまあ聞き取りやすかった」の回答率の合計は90%であった。



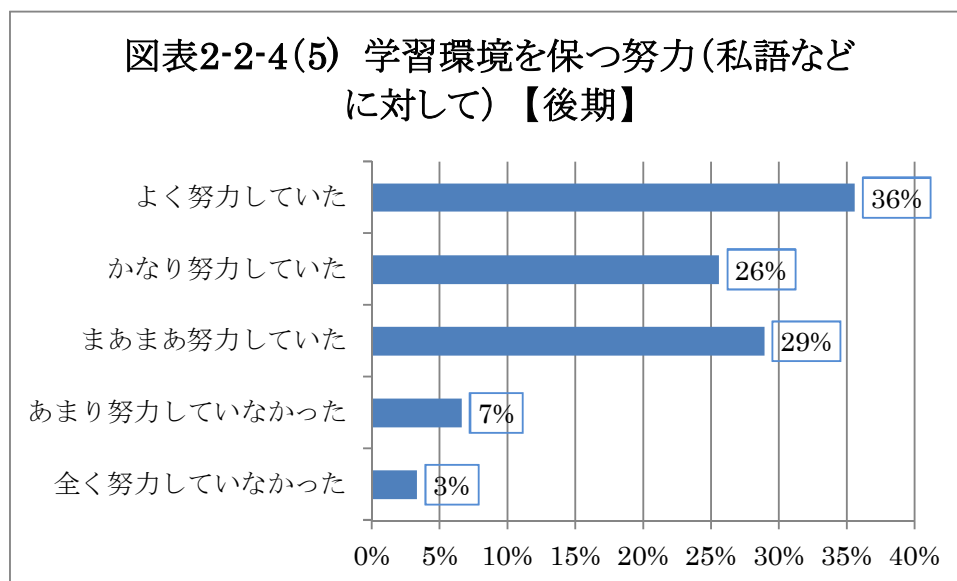
※ 四捨五入の関係で合計が100%にならない。

「教員の説明は、聞き取りやすかったか（声の大きさやスピードなど）」は、「聞き取りやすかった」「かなり聞き取りやすかった」「まあまあ聞き取りやすかった」の回答率の合計は89%であった。



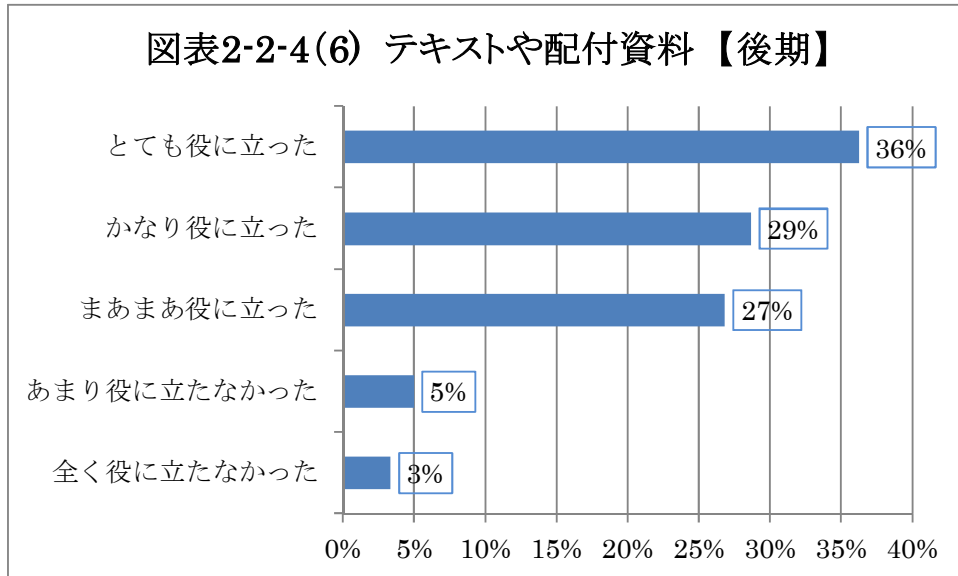
※ 四捨五入の関係で合計が100%にならない。

「教員は、私語をする学生に指導するなど、学習しやすい環境を保つ努力をしていたか」については、「良く努力していた」「かなり努力していた」「まあまあ努力していた」の回答率の合計は91%であった。

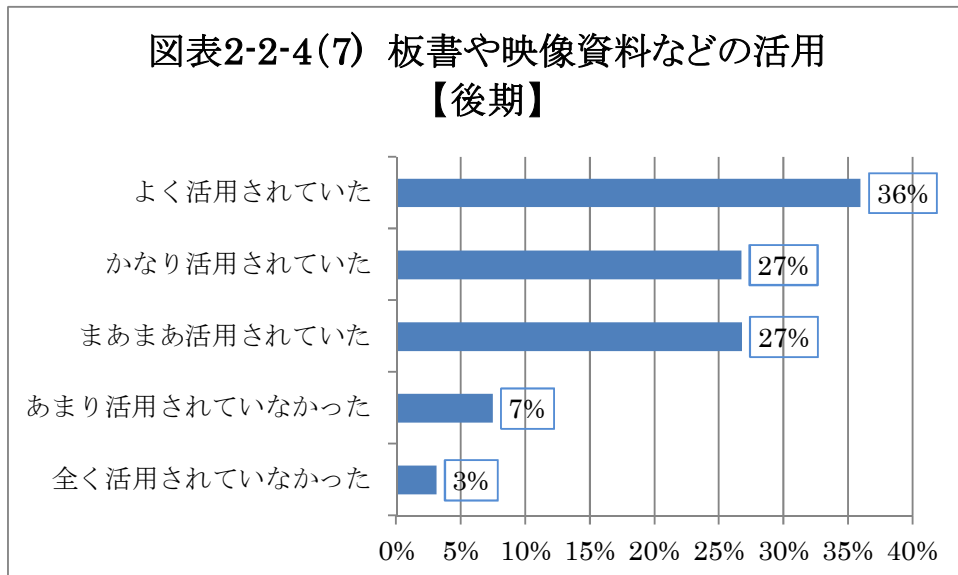


※ 四捨五入の関係で合計が100%にならない。

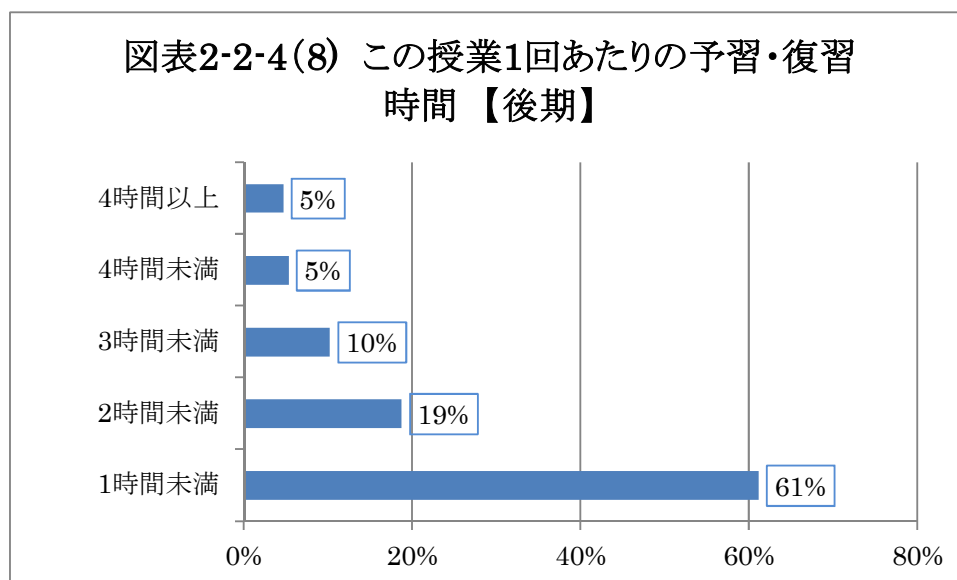
「テキストや配布資料は、授業内容の理解に役立ったか」は「とても役に立った」「かなり役に立った」「まあまあ役に立った」の回答率の合計は92%であった。



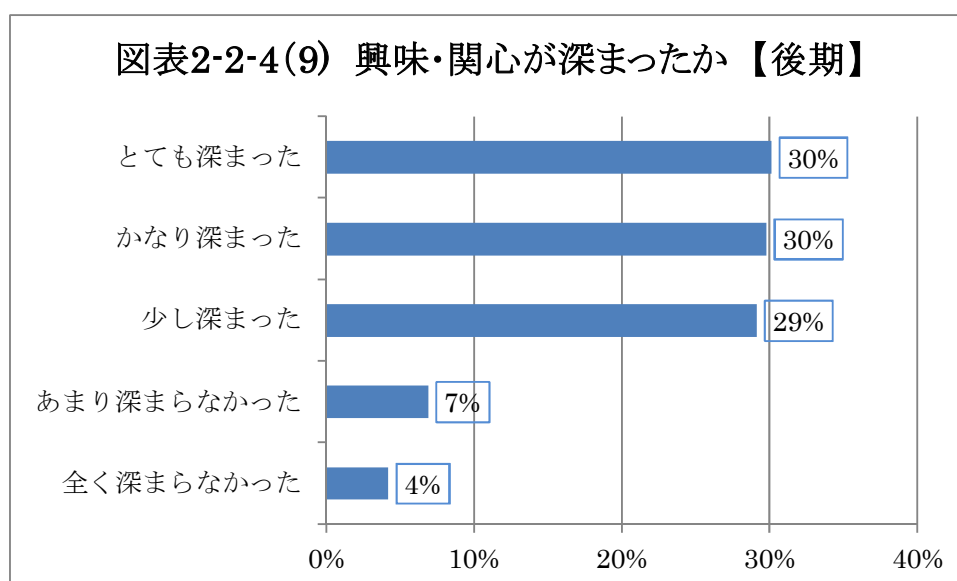
「板書や映像資料などは、有効に活用されていたか」については、「良く活用されていた」「かなり活用されていた」「まあ活用されていた」の回答率の合計は89%であった。



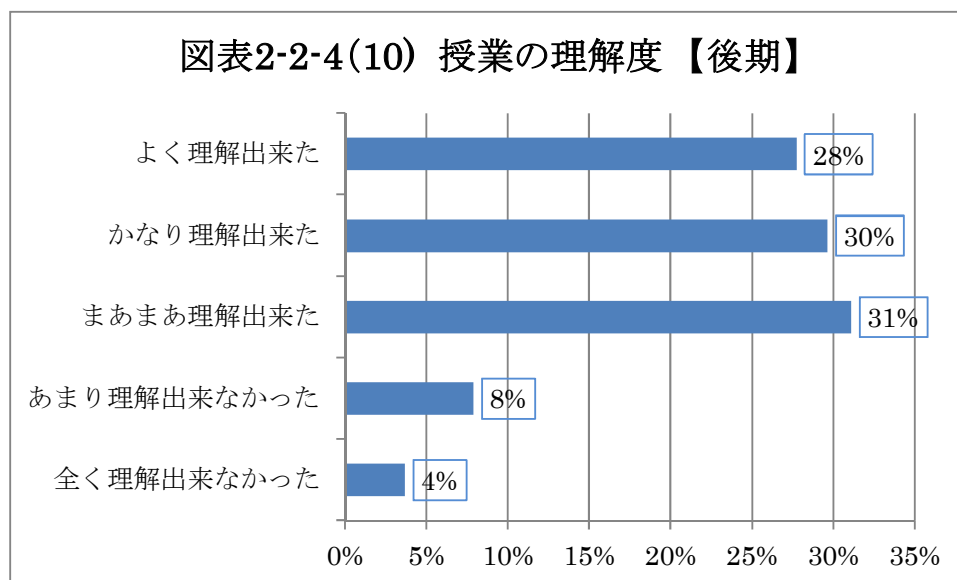
「この授業に関して1回の講義あたり、平均してどのぐらい予習、復習、関連する学習をしたか」については、「4時間以上」「4時間未満」「3時間未満」の回答率の合計は20%であった。



「この科目（分野）に関する興味・関心が深まったか」については、「とても深まった」「かなり深まった」「少し深まった」の回答率の合計は89%であった。

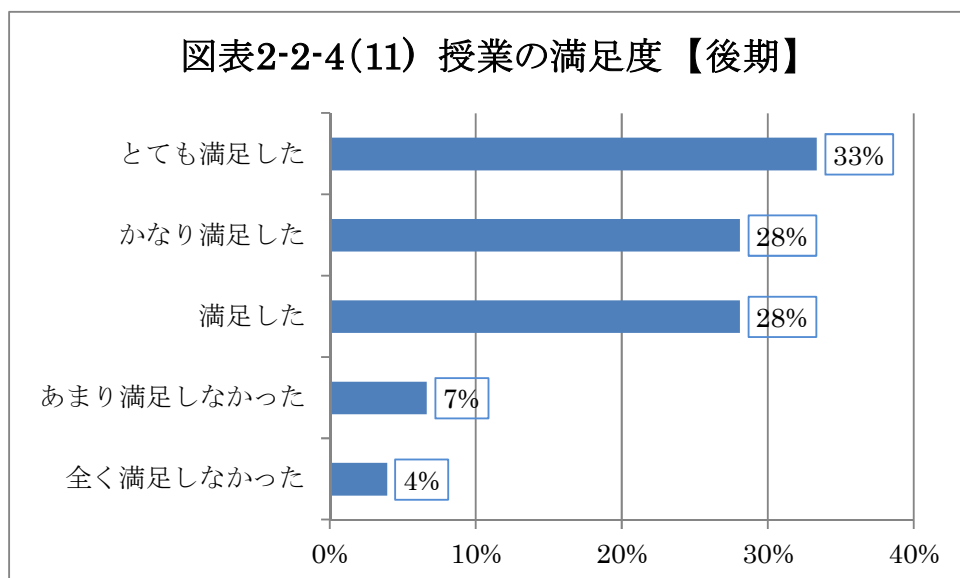


「この授業で学んだ内容を理解することができたか」については、「良く理解出来た」「かなり理解出来た」「まあ理解出来た」の回答率の合計は89%であった。



※ 四捨五入の関係で合計が100%にならない。

「あなたは、この授業を受講して満足したか」については、「とても満足した」「かなり満足した」「満足した」の回答率の合計は89%であった。



4. 各質問項目と属性との関係（後期）

本学の学生は、一般学生（高校を卒業後すぐあるいは1, 2年浪人して入学してくる学生）と留学生とシニア学生（年齢が50歳以上の学生）の3つに分類することができる。その学生区分別に各質問との関係を見たのが、図表 2-2-5 学生区分別の平均値の比較である。

平均値の計算方法であるが、前掲の図表 2-2-4 (11) を例にとると「全く満足しなかった=1」「あまり満足しなかった=2」「満足した=3」「かなり満足した=4」「とても満足した=5」として平均を計算している。その質問項目の得点が高いほど、役に立った、満足度が高い、よく理解しているなどの傾向があることを示している。

一般学生、留学生、シニア学生の比較（図表 2-2-5 参照）では、全体的傾向として各質問項目の平均点が高いのはシニア学生で、次に留学生、一般学生と続いている。

詳細に見ると、「出席率」「教員の声（は聞き取りやすかったか）」「教員の説明」「学習環境を保つ努力（私語などに対して）」「テキストや配布資料」「板書や映像資料などの活用」「興味・関心が深まったか」「授業の理解度」「授業の満足度」の9項目でシニア学生の平均値が最も高かった。「シラバスは役に立ったか」と「この授業の1回あたりの予習・復習時間」の2項目で留学生の平均値が最も高かった。留学生は日本の大学の様子や授業内容について日本人学生よりも情報が少ないため、履修科目を決める時のシラバスが重要な意味を持っていると考えられる。また、「この授業の1回あたりの予習・復習時間」の平均値が高いのは本学での授業は日本語での授業であるため、シニア学生と一般学生に比較して、留学生は多くの時間を勉強に費やしていることを推測させる結果となった。

多くの教員が授業などで「シニア学生」の学ぶ意欲の高さを実感しているが、出席率の高さだけでなく、その意欲の高さから「授業への満足度」、「授業の理解度」、「興味関心が深まったか」の項目でもシニア学生は高い得点であった。また、留学生は除いて考えた場合、「シニア学生」と「一般学生」にとって同条件である「教員の声（教員の説明は、聞き取りやすかったか（声の大きさやスピードなど）」、「テキストや配布資料（テキストや配布資料は、授業内容の理解に役立ったか）」「学習環境を保つ努力（教員は、私語をする学生に指導するなど、学習しやすい環境を保つ努力をしていたか）」の項目で、「シニア学生」と「一般学生」で回答に大きな差が見られ、学びの意欲の高低などが授業の満足度をはじめ各項目の平均値に影響を与えたと考えられる。

全11項目中、10項目で平均値が最も低かったのは、一般学生であった。3タイプの学生とも同じ授業を一緒に履修していることを考えると、各学生群の抱える事情や学びの意欲の高低などが授業の満足度をはじめ各項目の平均値に影響を与えたと考えられる。

本学は2015（平成27）年に神戸夙川学院大学の教育資産を継承した観光文化学科を設置し、総合社会学科との2学科体制となった。そこで、それぞれの学科別・各学年別の平均値を計算した結果が図表 2-2-6 である。

総合社会学科は全体的な傾向として、非常に特徴的なのは、2年生、3年生、4年生と学年が上がるごとに各項目の平均値が高くなり、4年生の平均値が6項目で、最も高い値になっている。3,4年生は各項目の平均値が1,2年生に比較してかなり高い傾向がみられる。4年生では、「この授業の1回あたりの予習・復習時間」、「興味・関心が深まったか」「授業の理解度」「授業の満足度」の平均値もかなり高く、勉強の意欲も高まり授業を理解し、授

業への満足度が上がっていることがわかる。

それに対して観光文化学科の特徴は、総合社会学科と比較して、異なった傾向であるが総じて総合社会学科よりも高めの平均値となっている。観光文化学科で非常に特徴的なのは、8つの項目の平均値で、3年生が最も高くなっており、その後4年生になると平均値が低下する傾向があることである。昨年度は7項目で2年生が最も高く、授業の満足度などは2年生にピークがあるという結果であったことから、この学年の満足度が高くなっていると考えられる。ただ、観光文化学科は1,2年生と3,4年生のカリキュラムが大きく異なっていること、さらに3,4年生は神戸夙川学院大学から神戸山手大学に転入してきた学生たちであり、単純に比較をすることが難しい。「出席率」「板書や映像資料などの活用」の2項目で値の低いのは、4年生であった。それ以外の7項目、「教員の声」「教員の説明」「学習環境を保つ努力」「テキストや配付資料」「この授業の1回あたりの予習・復習時間」「興味・関心が深まったか」「授業の理解度」「授業の満足」の値が最も低いのは1年生であった。観光文化学科は、学生の満足度などの平均値のピークが3年生にあり、4年生では低下する傾向がみられた。

図表 2-2-5 平均値の比較 一般学生・シニア・留学生別結果【後期】

		出席率	シラバスは役に立ったか	教員の声	教員の説明	学習環境を保つ努力	テキストや配付資料	板書や映像資料などの活用	この授業1回当りの予習・復習時間	興味・関心が深まったか	授業の理解度	授業の満足度
一般学生	平均	3.79	3.40	3.81	3.74	3.73	3.80	3.76	1.54	3.63	3.58	3.69
	回答数	1526	1524	1525	1522	1529	1526	1516	1524	1527	1524	1521
シニア学生	平均	4.68	3.89	4.40	4.30	4.27	4.37	4.31	1.48	4.15	4.12	4.17
	回答数	297	294	296	294	295	295	296	294	294	295	295
留学生	平均	4.09	3.97	4.04	3.98	3.89	3.90	3.84	2.40	3.86	3.80	3.91
	回答数	587	578	583	576	580	577	576	576	581	580	581
合計	平均	3.97	3.60	3.94	3.87	3.83	3.89	3.85	1.74	3.75	3.70	3.80
	回答数	2410	2396	2404	2392	2404	2398	2388	2394	2402	2399	2397

※ 無回答があるため合計回答数は一致しない

図表 2-2-6 平均値の比較 学科・学年別結果【後期】

		出席率	シラバス は役に 立った か	教員の 声	教員の 説明	学習環 境を保 つ努力	テキスト や配付 資料	板書や 映像資 料など の活用	この授 業1回 当りの 予習・復 習時間	興味・関 心が深 まったか	授業の 理解度	授業の 満足度	
総合社会 環境文化 都市交流	1年	平均	4.13	3.45	3.85	3.75	3.70	3.81	3.64	1.50	3.52	3.49	3.62
		回答数	507	502	502	498	501	499	497	498	497	500	497
	2年	平均	3.86	3.68	3.92	3.84	3.71	3.78	3.80	1.75	3.65	3.60	3.72
		回答数	302	300	299	295	300	301	298	303	302	300	300
	3年	平均	3.92	3.53	4.10	3.94	3.94	3.94	3.87	1.66	3.74	3.64	3.85
		回答数	334	333	331	333	332	333	330	332	334	332	333
	4年	平均	3.82	3.78	3.86	3.87	3.97	3.92	3.85	2.11	3.90	3.92	3.89
		回答数	143	143	145	143	143	146	143	143	143	145	143
	合計	平均	3.98	3.56	3.93	3.83	3.80	3.85	3.76	1.67	3.65	3.60	3.73
		回答数	1286	1278	1277	1269	1276	1279	1268	1276	1276	1277	1273
観光文化	1年	平均	3.96	3.50	3.80	3.77	3.78	3.83	3.88	1.55	3.69	3.64	3.71
		回答数	532	530	534	532	535	530	530	527	532	530	532
	2年	平均	4.09	3.39	4.16	4.00	3.91	4.11	3.96	1.56	3.93	3.84	3.93
		回答数	105	105	105	105	105	105	105	104	105	105	105
	3年	平均	4.05	3.88	4.10	4.10	4.00	4.08	4.09	1.94	4.10	4.07	4.11
		回答数	355	352	353	352	355	350	353	354	355	353	353
	4年	平均	3.61	3.74	3.97	3.90	3.90	3.91	3.87	2.74	3.84	3.78	3.93
		回答数	132	131	135	134	133	134	132	133	134	134	134
	合計	平均	3.96	3.64	3.95	3.91	3.88	3.95	3.95	1.82	3.86	3.81	3.88
		回答数	1124	1118	1127	1123	1128	1119	1120	1118	1126	1122	1124
学部全体	1年	平均	4.04	3.47	3.83	3.76	3.74	3.82	3.76	1.53	3.61	3.56	3.67
		回答数	1039	1032	1036	1030	1036	1029	1027	1025	1029	1030	1029
	2年	平均	3.92	3.61	3.98	3.88	3.77	3.87	3.84	1.70	3.72	3.66	3.78
		回答数	407	405	404	400	405	406	403	407	407	405	405
	3年	平均	3.99	3.71	4.10	4.02	3.97	4.01	3.98	1.80	3.92	3.86	3.98
		回答数	689	685	684	685	687	683	683	686	689	685	686
	4年	平均	3.72	3.76	3.91	3.88	3.93	3.92	3.86	2.42	3.87	3.85	3.91
		回答数	275	274	280	277	276	280	275	276	277	279	277
	合計	平均	3.97	3.60	3.94	3.87	3.83	3.89	3.85	1.74	3.75	3.70	3.80
		回答数	2410	2396	2404	2392	2404	2398	2388	2394	2402	2399	2397

※ 無回答があるため合計回答数は一致しない

第3章 2016年度 全般アンケート

第1節 2016年度 前期全般アンケート

1. 本調査の実施の概要と回答者の属性

本調査は神戸山手大学の全学生を対象に以下の要領で実施した。

実施期間：2016年7月4日～2016年7月14日

原則として以下の授業時間に実施

1年生－基礎ゼミ

2年生－課題研究

3,4年生－ゼミまたは卒業研究

上記の時間に欠席した学生は、各自が空き時間を利用して回答

回答方法：WEB上で実施

有効回答数：質問1：142（回答率 31.8%）

質問2：229（回答率 38.6%）

質問3,4：161（回答率 48.6%）

回答者の属性：図表3-1-2及び図表3-1-3を参照

図表3-1-1 在籍者数

	1年	2年	3年	4年	合計
総合社会学科	65	43	48	62	218
観光文化学科	82	31	100	147	360
環境文化学科	—	—	—	10	10
都市交流学科	—	—	—	6	6
合計	147	74	148	225	594

(平成28年5月1日現在)

図表3-1-2 回答者の学年別内訳

	学科	人数	
4年生	総合社会	18	59
	観光文化	38	
	環境文化	2	
	都市交流	1	
3年生	総合社会	22	49
	観光文化	27	
2年生	総合社会	23	34
	観光文化	11	
1年生	総合社会	54	87
	観光文化	33	
合計		229	

図表3-1-3 回答者の学生区分別内訳

	人数
一般学生	154
留学生	20
シニア学生	55
合計	229

2. 質問項目

本調査の授業改善のための評価アンケート項目は以下の4項目である。

質問1 (1年生は回答不要です→質問2へ)

本学では、教育の質を保証するために期末に授業アンケートを実施しています。授業アンケートが授業改善に活かされていると感じますか。個々の授業科目ではなく、全体の印象としてお答えください。

- ・活かされている
- ・どちらかというとき活かされている
- ・どちらともいえない
- ・どちらかというとき活かされていない
- ・活かされていない

質問2 この学期において、本学の授業を受けてみて満足感を得られましたか。

個々の授業科目ではなく、全体の印象としてお答えください。

- ・とても満足している
- ・まあまあ満足している
- ・どちらともいえない
- ・やや不満である
- ・おおいに不満である

以下の質問3-1、3-2および質問4は、総合社会学科と観光文化学科1-2年生のみお答えください

質問3-1 「科目履修計画・評価」シートは、学修の達成度を自己点検するという趣旨で記入してもらっています。シートの目的を理解していましたか。

- ・よく理解していた
- ・まあまあ理解していた
- ・どちらともいえない
- ・あまり理解していなかった
- ・まったく理解していなかった

質問3-2 学修の達成度を自己点検するのに「科目履修計画・評価」シートは役に立ちましたか。

- ・とても役立った
- ・まあまあ役立った
- ・どちらともいえない
- ・あまり役立たなかった
- ・まったく役立たなかった

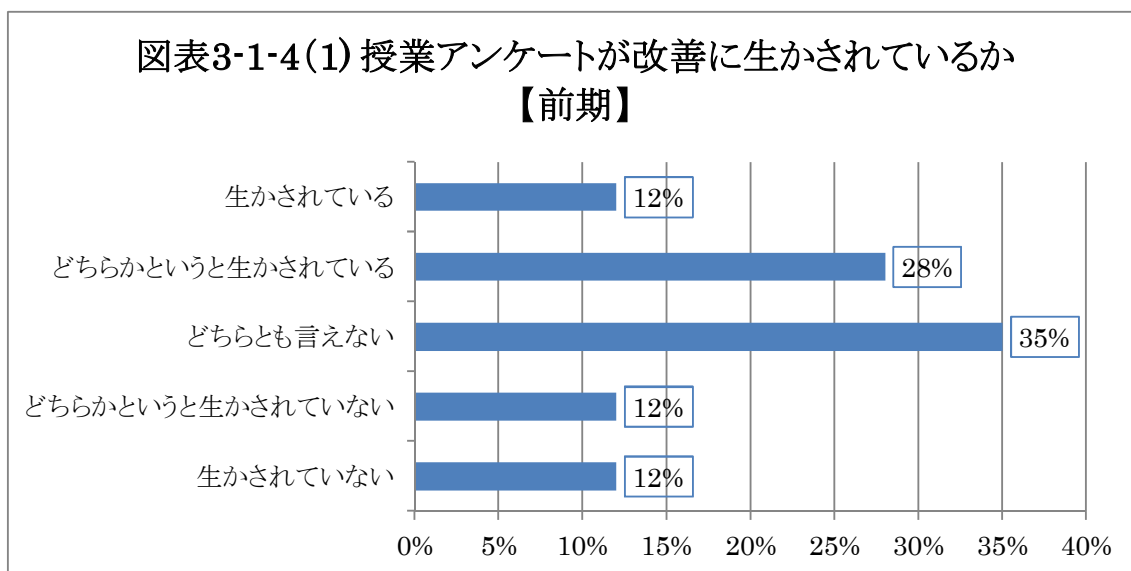
質問4 専門科目の履修の参考にするために、フィールドごとに「カリキュラムマップ」を作成しています。この「カリキュラムマップ」は、履修計画を立てる上で参考になりましたか。

- ・とても参考になった
- ・まあまあ参考になった
- ・どちらともいえない
- ・あまり参考にならなかった
- ・まったく参考にならなかった

3. 回答結果

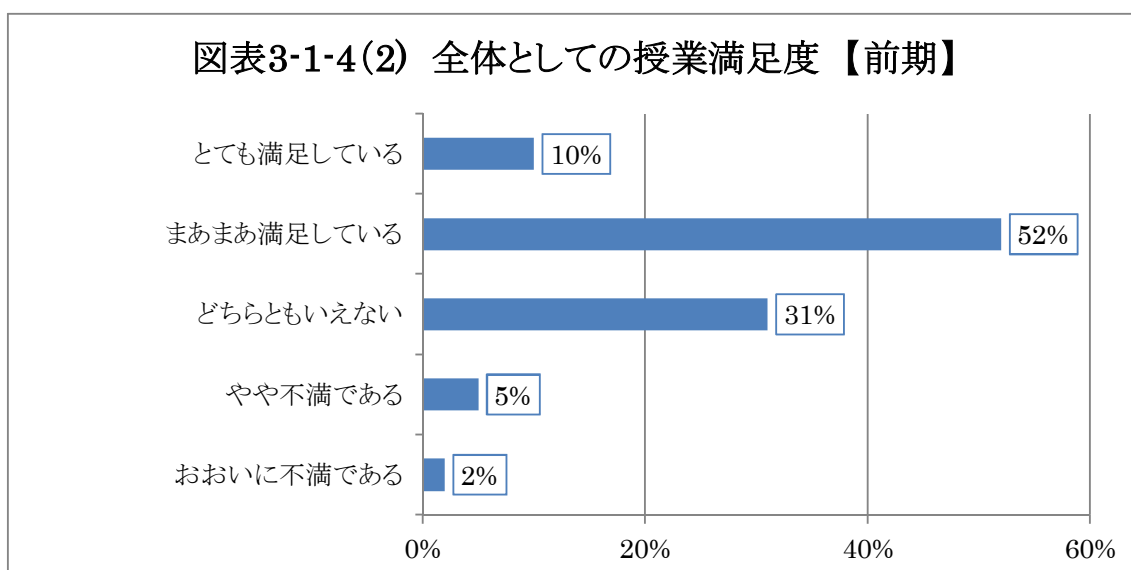
※本報告は設問ごとに無回答を除いて合計を算出しているため、各設問によって合計数が異なる。

「授業アンケートが改善に活かされているか」については、「どちらともいえない」が 35% で「どちらかというとは活かされている」「活かされている」は、40%であった。



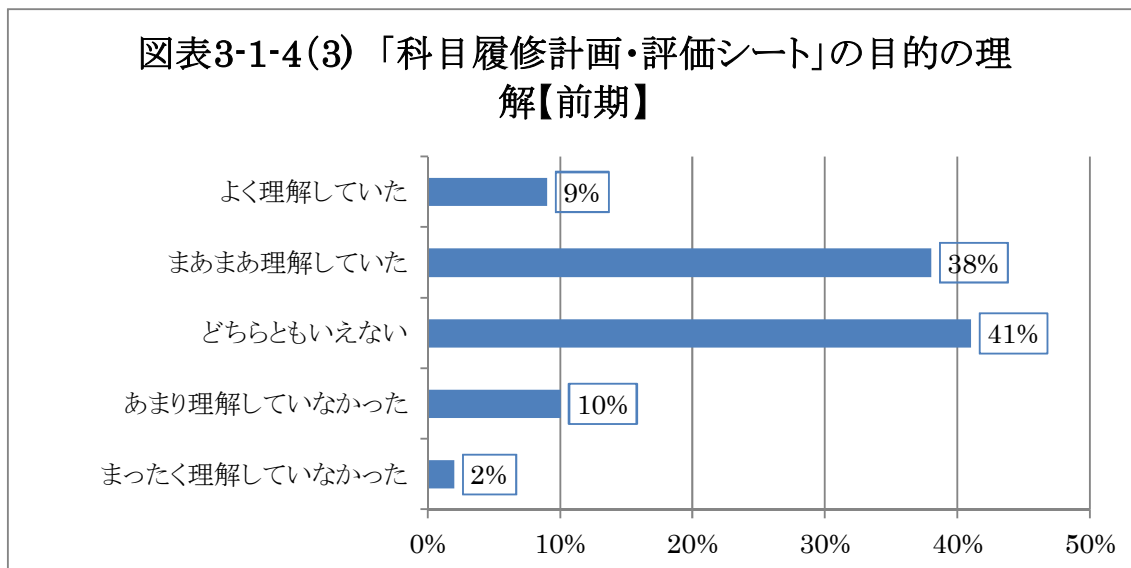
※ 四捨五入の関係で合計が 100%にならない。

「全体としての授業の満足度」は、「とても満足している」「まあまあ満足している」の合計は 62%で全体として満足度が高い傾向がみられた。

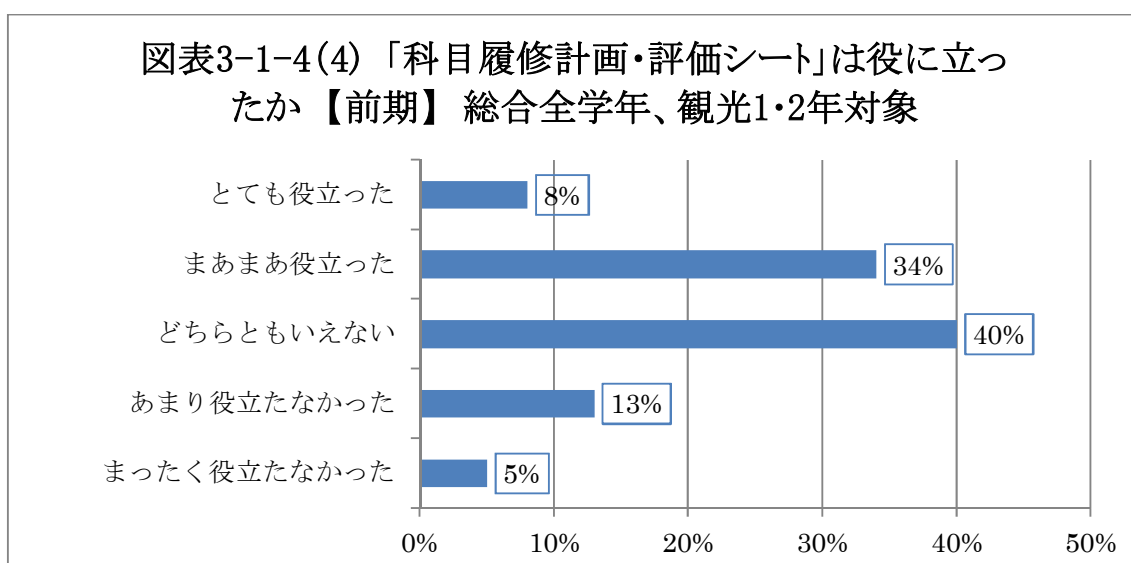


以下の質問は、総合社会学科と観光文化学科の1-2年生のみを対象にした質問である。

「科目履修計画・評価シートの目的を理解しているか」については、「よく理解していた」「まあまあ理解していた」の回答率の合計は47%で、「まったく理解していなかった」「あまり理解していなかった」は12%と少数で学生の多くが理解しているという結果となった。

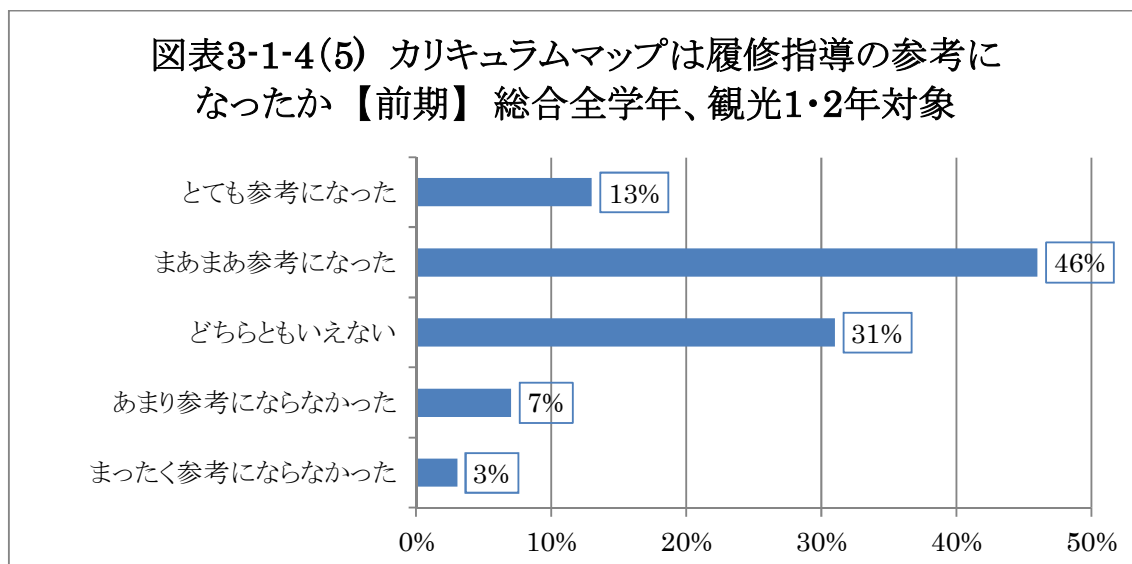


図表7「科目履修計画・評価シートは役に立ったか」については、「とても役立った」「まあまあ役立った」は42%で、「まったく役立たなかった」「あまり役立たなかった」は、18%であった。「科目履修計画・評価」シートの導入から4年であることを考えれば、一定の成果が上がっていると考えられる。しかし、「どちらともいえない」の回答が40%あり、「科目履修計画・評価」シートについて学生がより一層の理解を深めていくような指導が必要であるといえる。



「カリキュラムマップは、履修計画の参考になったか」は、「とても参考になった」「まあまあ参考になった」の合計は 59%で、「あまり参考にならなかった」「まったく参考にならなかった」の合計は 10%であった。

カリキュラムマップは学生の履修計画を立てる時に役に立っていることがわかる。



4. 各質問項目と属性との関係

本学には、一般学生（高校を卒業後入学してくる学生）と留学生とシニア学生（50歳以上の学生）の学生がいる。その学生区分と各質問との関係を見たのが、図表 3-1-5 学生区分別の平均値の比較である。

平均値の計算方法であるが、前述の図表 3-1-4 (2) を例にとると「おおいに不満である=1」「やや不満である=2」「どちらともいえない=3」「まあまあ満足している=4」「とても満足している=5」として平均を計算している。その質問項目の得点が高いほど、役に立った、満足度が高い、よく理解しているなどの傾向があることを示している。

全体として授業の満足度は、留学生が最も高く次にシニア学生、一般学生という順であった。

また、総合社会学科と観光文化学科 1-2 年生のみを対象にした『科目履修計画・評価シート』の目的の理解、「科目履修計画・評価シート」は役に立ったか、「カリキュラムマップ」は、履修計画の参考になったか」の 3 つの質問項目は、『科目履修計画・評価シート』の目的の理解は一般学生が、『科目履修計画・評価シート』は役に立ったかは留学生が最も高い得点であった。『カリキュラムマップ』は、履修計画の参考になったかは一般学生とシニア学生が同点であった。しかし、『科目履修計画・評価シート』は役に立ったかについては、シニア学生の平均値が非常に低いという結果となった。

図表 3-1-5 学生区分別の平均値の比較(前期)

		授業アンケートが改善に生かされているか	全体としての授業満足度	「科目履修計画・評価シート」の目的の理解	「科目履修計画・評価シート」は役に立ったか	「カリキュラムマップ」は履修計画の参考になったか
一般学生	平均値	2.91	3.51	3.38	3.22	3.53
	回答数	94	154	103	103	103
留学生	平均値	3.68	3.80	3.33	3.28	3.38
	回答数	38	55	39	39	39
シニア学生	平均値	3.20	3.60	3.37	2.58	3.53
	回答数	10	20	19	19	19
合計	平均値	3.14	3.59	3.37	3.16	3.50
	回答数	142	229	161	161	161

図表 3-1-6 は学科・学年別の平均値の比較である。全体として授業の満足度は、総合社会学科と観光文化学科で異なった傾向が見られた。

総合社会学科は 1,2 年生ではある程度満足度があるが、3 年生で下がり、4 年生に上がる中だるみの傾向がみられた。総合社会学科では、2,3 年生の授業満足度を今後どうやってあげていくが課題であると考えられる。

それに対して、観光文化学科は総合社会学科と異なった傾向がある。ただ、観光文化学科は 1,2 年生と 3,4 年生のカリキュラムが異なっているので単純に比較をすることはできない点を留意する必要がある。1 年生から順に満足度が上がっており、3 年生の授業の満足度が最も高くなっており、4 年生になると下がるという結果になっている。

図表 3-1-6 学科・学年別の平均値の比較（前期）

学科	学年		授業アンケートが改善に生かされているか	全体としての授業満足度	「科目履修計画・評価シート」の目的の理解	「科目履修計画・評価シート」は役に立ったか	「カリキュラムマップ」は履修計画の参考になったか
総合社会※	4年生	平均値	3.33	3.57	3.78	3.28	3.39
		回答数	21	21	18	18	18
	3年生	平均値	2.95	3.32	3.09	2.55	3.00
		回答数	22	22	22	22	22
	2年生	平均値	3.22	3.65	3.70	3.00	3.78
		回答数	23	23	23	23	23
	1年生	平均値	—	3.65	3.20	3.20	3.65
		回答数	—	54	54	54	54
観光文化	4年生	平均値	3.18	3.58	—	—	—
		回答数	38	38	—	—	—
	3年生	平均値	2.96	3.85	—	—	—
		回答数	27	27	—	—	—
	2年生	平均値	3.27	3.55	3.55	3.36	3.55
		回答数	11	11	11	11	11
	1年生	平均値	—	3.45	3.30	3.48	3.42
		回答数	—	33	33	33	33
学部全体	4年生	平均値	3.24	3.58	3.78	3.28	3.39
		回答数	59	59	18	18	18
	3年生	平均値	2.96	3.61	3.09	2.55	3.00
		回答数	49	49	22	22	22
	2年生	平均値	3.24	3.62	3.65	3.12	3.71
		回答数	34	34	34	34	34
	1年生	平均値	—	3.57	3.24	3.31	3.56
		回答数	—	87	87	87	87
	合計	平均値	3.14	3.59	3.30	3.10	3.43
		回答数	142	229	164	164	164

※4年生には環境文化、都市交流を含む

第2節 2016年度 後期全般アンケート

1. 本調査の実施の概要と回答者の属性

本調査は神戸山手大学の全学生を対象に以下の要領で実施した。

実施期間：2016年12月5日～22日

原則は12月5日から16日の期間に以下の授業時間に実施

1年生－基礎ゼミ

2年生－課題研究

3,4年生－ゼミまたは卒業研究

上記の時間に欠席した学生はそれ以降に各自が空き時間を利用して回答

回答方法：WEB上で実施

有効回答数：質問1：116（回答率 26.7%）

質問2：186（回答率 32.4%）

質問3,4：141（回答率 44.5%）

回答者の属性：図表3-2-2及び図表3-2-3を参照

図表3-2-1 在籍数

	1年	2年	3年	4年	合計
総合社会学科	64	40	48	61	218
観光文化学科	76	28	99	146	360
環境文化学科	—	—	—	6	10
都市交流学科	—	—	—	6	6
合計	140	68	147	219	574

(平成28年11月8日現在)

図表3-2-2 回答者の学年別内訳

	学科	人数	
4年生	総合社会	18	43
	観光文化	25	
3年生	総合社会	26	46
	観光文化	20	
2年生	総合社会	20	27
	観光文化	7	
1年生	総合社会	35	70
	観光文化	35	
合計		186	

図表3-2-3 回答者の学生区分別内訳

	人数
一般学生	114
留学生	52
シニア学生	20
合計	186

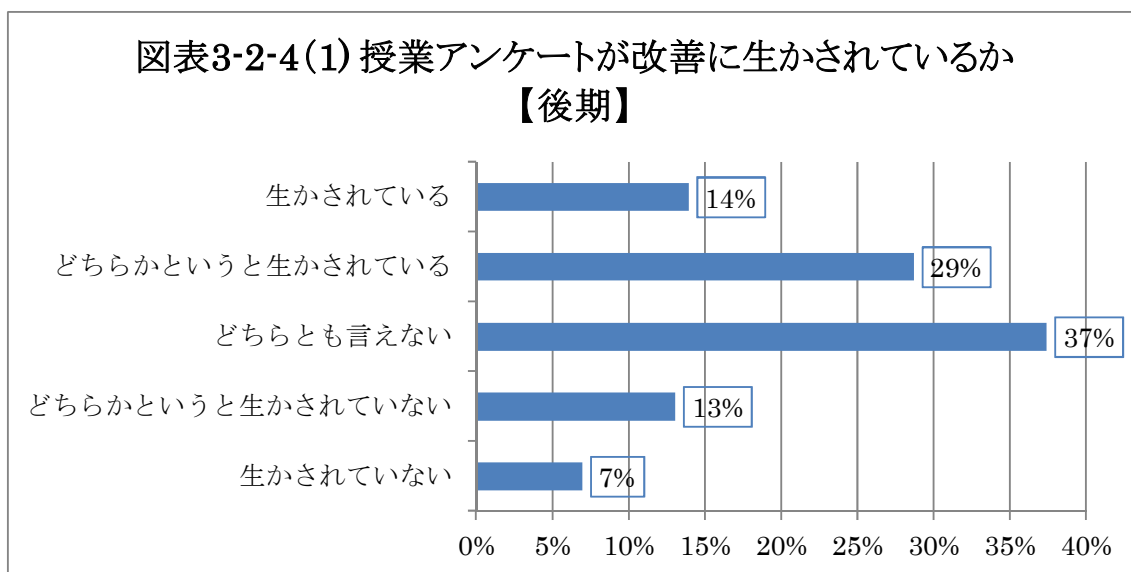
2. 質問項目

本調査の授業改善のための評価アンケート項目は前期と同じ4項目である。(26 ページ参照)

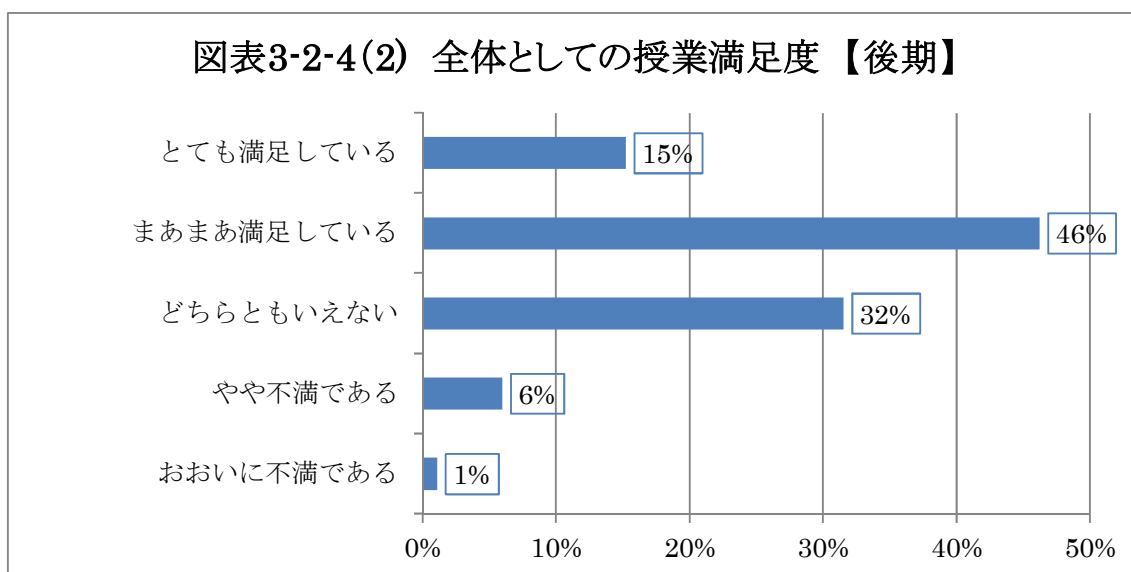
3. 回答結果

※本報告は設問ごとに無回答を除いて合計を算出しているため、各設問によって合計数が異なる。

「授業アンケートが改善に活かされているか」については、「どちらともいえない」は37%で「どちらかという生かされている」「生かされている」は43%であった。

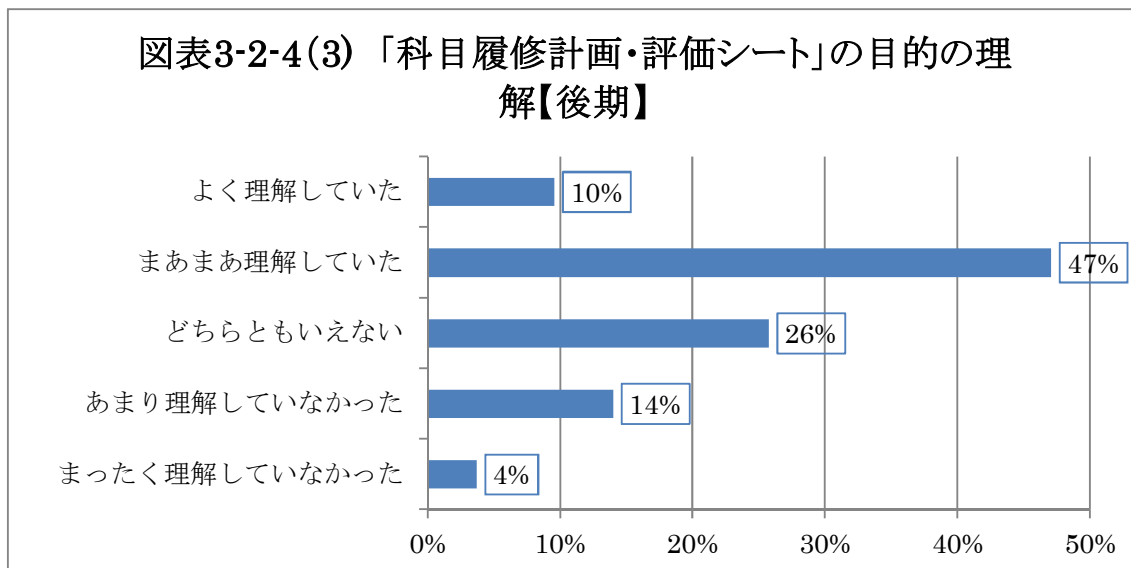


「全体としての授業の満足度」は、「とても満足している」「まあまあ満足している」の合計は61%で全体として満足度が高い傾向がみられた。



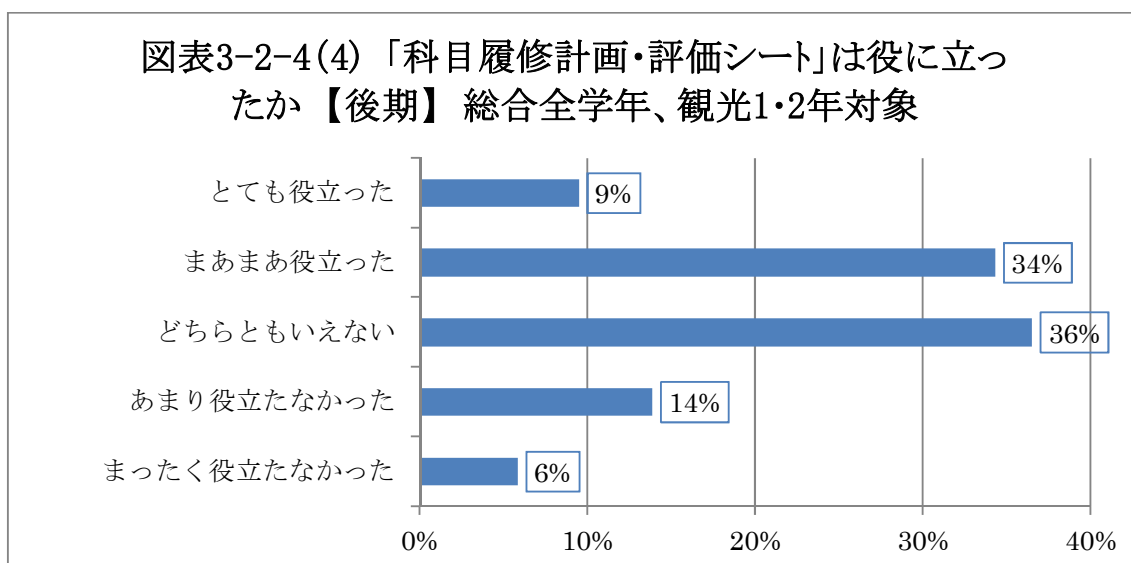
以下の質問は、総合社会学科と観光文化1,2年生のみの学生を対象にした質問である。

「科目履修計画・評価シートの目的を理解しているか」については、「よく理解していた」「まあまあ理解していた」の回答率の合計は57%で、「まったく理解していなかった」「あまり理解していなかった」は18%と少数で学生の多くが理解しているという結果となった。



※ 四捨五入の関係で合計が100%にならない。

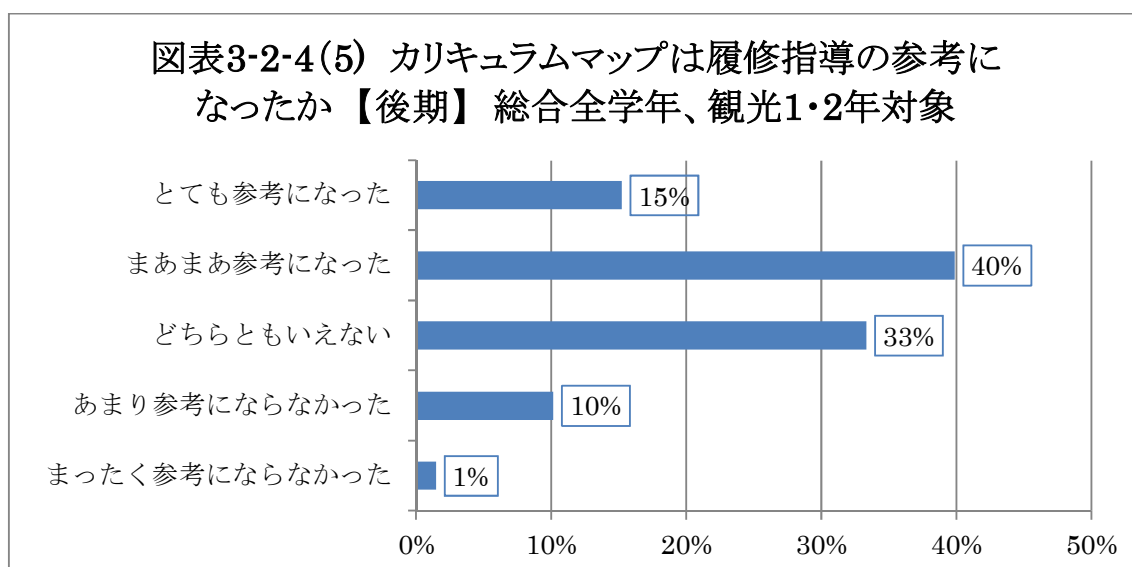
「科目履修計画・評価シートは役に立ったか」については、「とても役立った」「まあまあ役立った」は43%で、「まったく役立たなかった」「あまり役立たなかった」は20%であった。「科目履修計画・評価」シートの導入から4年経ったことを考えれば、一定の成果が上がっていると考えられる。しかし、「どちらともいえない」の回答が36%あり、「科目履修計画・評価」シートについて学生がより一層の理解を深めていくような指導が必要であるといえる。



※ 四捨五入の関係で合計が100%にならない。

「カリキュラムマップは、履修計画の参考になったか」は、「とても参考になった」「まあまあ参考になった」の合計は 55%で、「あまり参考にならなかった」「まったく参考にならなかった」の合計は 11%であった。

カリキュラムマップは学生の履修計画を立てる時に役に立っていることがわかる。



※ 四捨五入の関係で合計が 100%にならない。

4. 各質問項目と属性との関係

本学には、一般学生（高校を卒業後入学してくる学生）と留学生とシニア学生（50歳以上の学生）の学生がいる。その学生区分と各質問との関係を見たのが、図表 3-2-5 学生区分別の平均値の比較である。

平均値の計算方法であるが、前述の図表 3-2-4 (2) を例にとると「おおいに不満である=1」「やや不満である=2」「どちらともいえない=3」「まあまあ満足している=4」「とても満足している=5」として平均を計算している。その質問項目の得点が高いほど、役に立った、満足度が高い、よく理解しているなどの傾向があることを示している。

全体として授業の満足度は、シニア学生が最も高く次に留学生、一般学生という順であった。

総合社会学科と観光文化学科 1,2 年生のみを対象にした『科目履修計画・評価シート』の目的の理解、「『科目履修計画・評価シート』は役に立ったか」、「『カリキュラムマップ』は、履修計画の参考になったか」の 3 つの質問項目では、『科目履修計画・評価シート』の目的の理解」の項目がシニア学生、「『科目履修計画・評価シート』は役に立ったか」は留学生、「『カリキュラムマップ』は、履修計画の参考になったか」は一般学生が最も高かった。

シニア学生は、『科目履修計画・評価シート』の目的の理解」はしているが、『科目履修計画・評価シート』は役に立っていないと考えている結果となった。

図表 3-2-5 学生区分別の平均値の比較(後期)

		授業アンケートが改善に生かされているか	全体としての授業満足度	「科目履修計画・評価シート」の目的の理解	「科目履修計画・評価シート」は役に立ったか	「カリキュラムマップ」は履修計画の参考になったか
一般学生	平均値	3.16	3.54	3.22	3.13	3.52
	回答数	67	114	82	82	82
留学生	平均値	3.65	3.77	3.44	3.62	3.44
	回答数	37	52	39	39	39
シニア学生	平均値	2.67	3.90	3.55	2.55	3.50
	回答数	12	20	20	20	20
合計	平均値	3.27	3.65	3.33	3.18	3.50
	回答数	116	186	141	141	141

図表 3-2-6 は、学科・学年別の平均値の比較である。全体として授業の満足度は、総合社会学科と観光文化学科で異なった傾向が見られた。

総合社会学科は、1 年生は一定程度の満足度があるが、2 年生になると中だるみ状態のためか授業の満足度が下がっている。しかし、3 年生、4 年生と学年が上がると満足度が高くなり、本質問では 4 年生が最も満足度が高くなるという結果となった。

それに対して、観光文化学科は総合社会学科と多少異なった傾向がある。ただ、観光文化学科は 1,2 年生と 3,4 年生のカリキュラムが異なっているため、単純に比較をすることが難しい。総合社会学科同様 1 年生で一定程度の満足度があり、2 年生、3 年生と下がるが 4 年生で授業の満足度が最も高いという結果となっている。

図表 3-2-6 学科・学年別の平均値の比較（後期）

学科	学年		授業アンケートが改善に生かされているか	全体としての授業満足度	「科目履修計画・評価シート」の目的の理解	「科目履修計画・評価シート」は役に立ったか	「カリキュラムマップ」は履修計画の参考になったか	
総合社会※	4年生	平均値	3.33	3.83	3.61	3.17	3.67	
		回答数	18	18	18	18	18	
	3年生	平均値	3.08	3.58	3.46	3.00	3.42	
		回答数	26	26	26	26	26	
	2年生	平均値	3.55	3.25	3.20	3.30	3.80	
		回答数	20	20	20	20	20	
	1年生	平均値	—	3.69	3.40	3.29	3.66	
		回答数	—	35	35	35	35	
	観光文化	4年生	平均値	3.28	3.80	—	—	—
			回答数	25	25	—	—	—
3年生		平均値	3.08	3.58	—	—	—	
		回答数	20	20	—	—	—	
2年生		平均値	3.12	3.62	3.50	3.00	3.50	
		回答数	7	7	7	7	7	
1年生		平均値	—	3.71	3.06	3.17	3.09	
		回答数	—	35	35	35	35	
学部全体		4年生	平均値	3.30	3.81	3.61	3.17	3.67
			回答数	43	43	18	18	18
	3年生	平均値	3.17	3.61	3.46	3.00	3.42	
		回答数	46	46	26	26	26	
	2年生	平均値	3.37	3.30	3.26	3.26	3.78	
		回答数	27	27	27	27	27	
	1年生	平均値	—	3.70	3.23	3.23	3.37	
		回答数	—	70	70	70	70	
	合計	平均値	3.27	3.65	3.33	3.18	3.50	
		回答数	116	186	141	141	141	

※4年生には環境文化、都市交流を含む